

要望14件を付して

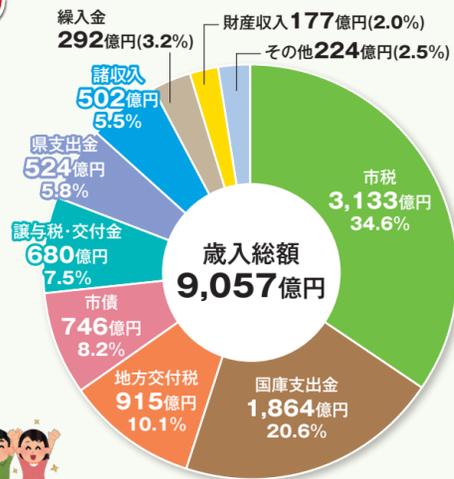
令和6年度予算を承認しました!

【承認理由】 新年度予算では我が会派が予算要望した、都市の成長、子育て・教育、高齢者・障害者福祉や健康に関する多くの項目に予算がつきました。また、持続可能な自治体経営、住みよい安全・安心のまち創りなどの期待する予算となったため令和6年度予算を承認いたしました。昨年末、神戸市は、働く女性向けウェブメディア「日経×woman(クロスウーマン)」と日本経済新聞社の調査「共働きで子育てしやすい街ランキング」では、**全国で4位、関西でトップ**となりました。今後も市民目線に立った市政改革提案を進めていきます。

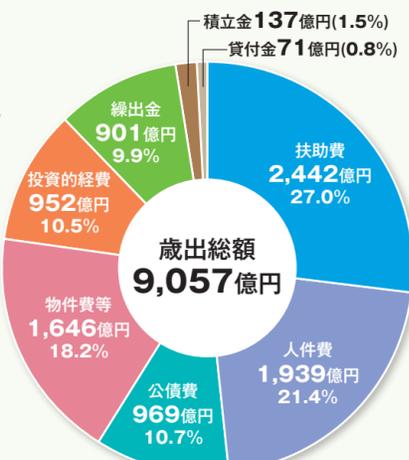


▲要望内容は
こちら

一般会計



款別歳入予算の構成比



性質別歳出予算の構成比

会派からの要望に予算がつきました(一部抜粋)

① 路上喫煙対策について

ぼい捨て防止重点区域を中心とした啓発活動及び巡回清掃の拡充
路上喫煙禁止区域における屋内型喫煙所整備補助の創設



② 障害者施策、困窮家庭の学習支援の充実について

発達障害者の支援体制の強化拡充
経済的事情を抱える家庭学習の支援拡充(中学生オンライン学習)



③ 児童虐待防止対策について

こども家庭センターの体制強化・児童家庭支援センターの増設



④ 子育て支援について

生後1か月時に受診する健康診断の費用を助成



⑤ 神戸空港国際化について

空港からのアクセス強化、新ターミナル整備などの空港機能強化



⑥ 介護予防・フレイル対策について

フレイル状態にある方に対して改善プログラムを提供する箇所数拡大



⑦ グリーンステーション管理支援について

鳥獣被害対策の強化(カラス対策ネットボックスのモデル設置)
外国人向けごみ出しルール啓発強化など排出ルールの徹底



⑧ 駅周辺のリノベーションについて

三宮駅を始めJR駅周辺空間の駐輪場整備等、ハード・ソフトの再整備
地下鉄駅前、神鉄沿線の地域の特性を活かした再整備



⑨ 大阪・関西万博について

空飛ぶクルマの社会実装に向けた民間企業の取り組みの支援
万博会場での催事実施に向けた企画及び機運醸成



神戸市会議員の期末手当アップ 維新は反対!!

令和5年12月6日11月議会において自民党・公明党・こうべ未来より上程されました、議員提出議案第8号「神戸市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」について日本維新の会は反対を行いました。

交渉会派	日本維新	自民	公明	こうべ未来	共産
賛否	×反対	○	○	○	×

※所属議員5名以上の交渉会派のみ記載 ▲反対討論はこちら



主張

全国政令市で2番目に高額である議員報酬をさらに増額させることは、**市民からの理解を到底得られるものではありません!**実質賃金の上昇及び、さらなる行財政改革を推進し、**市民生活を改善・向上させていくことが最優先!!**



身を切る改革を
実行しました!!

令和5年分!

20,096,372円を

石川県(令和5年7月大雨災害義援金)、
福島県(令和5年台風第13号災害義援金)に寄付しました!!



▲寄付の状況はこちら

徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自らが

身を切る!

身を切る改革は、日本維新の会神戸市会議員団が市民に約束した**最重要事項**です。公約である**議員報酬2割削減の実現**に向けて、引き続き率先垂範してまいります。

令和6年 能登半島地震支援

令和6年1月1日の能登半島地震で亡くなられた方々に、心から哀悼の意を捧げます。被災された皆様には、今なお厳しい状況が続いていることを深く、お見舞い申し上げます。

神戸市からも多くの職員が派遣され、尽力されています。日本維新の会神戸市議員団としても、本市の教訓を基にした被災地の支援と効果的な復旧を推進していく所存でございます。被災者が1日も早く復興し、皆様が再び平穏な日常を取り戻せることを心からお祈り申し上げます。

神戸市は石川県珠洲市に対し、対口支援(カウンターパート)方式※による支援を行っています。 ※被災市区町村を1対1で担当する団体が自己完結的に支援する方式。

神戸市からの派遣状況(2月29日現在、延べ人数)

珠洲市 165人 | 珠洲市以外石川県 610人

神戸市能登地震支援サイト



日本維新の会神戸市議員団は石川県珠洲市へ**500万円**を寄付させていただきました。



令和6年1月8日神戸市・兵庫県合同出発式(兵庫県庁)



神戸市公式noteより

神戸市消防局公式Xより

代表質疑 (令和6年2月21日)

■ながさわ 淳一



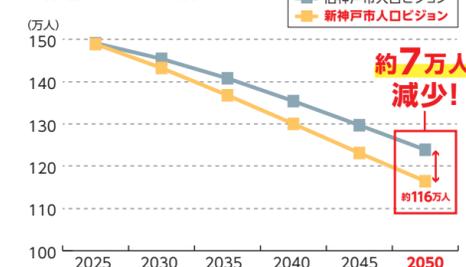
※人口ビジョンとは、神戸市が策定した人口の現状と将来の見通しを示す計画です。

人口ビジョン※の改定について

ながさわ 神戸人口ビジョンが改定されましたが、初めて、独自の算定手法で将来人口推計が行われ、2050年の推計人口を見ると、前回の神戸人口ビジョンと比較し、約7万人減少しています。今回の人口ビジョンを踏まえ、今後こういった観点で対策を講じていくのか、改めて考え方について見解をお伺いします。
久元市長▶ 神戸市は人口減少が進む中で、市民の生活の質を維持・向上させる政策を展開しています。人口流出、特に若年世帯と生産年齢人口の流出を防ぐための施策が重要です。大阪の高校無償化政策により、兵庫県内の高校生世帯の経済負担が増大し、人口流出が進む可能性があります。これに対応するために、高校生の無償化政策を取り上げました。神戸市は就職機能の強化、企業住宅手当等の支援補助金の創設、子育て世帯への切れ目のない支援強化などの施策を

行っています。また、都心と郊外のバランスのとれたまち創りに取り組み、まち全体の魅力を高める取り組みも行っていきます。神戸市は、全国的な人口減少が進む中でも、人口減少社会にふさわしいまち創りに取り組んでいきます。

■新・旧人口ビジョン比較グラフ



■原 直樹



宿泊税の検討について

原 宿泊税を導入している福岡市が実施した宿泊事業者へのアンケートによると、宿泊税を活用した観光施策としてMICE誘致による地域経済の活性化やMICE施設の整備、修学旅行の誘致受け入れ支援に対して高い評価を得ております。また宿泊税に対する宿泊客の理解も進んでいるという結果も出ており、観光MICE施策を推進する本市においても有効な手段であり、本市でも宿泊税の導入を検討してはいかがでしょうか。見解をお聞かせ願います。
今西副市長▶ 先行自治体の中では、例えば議員からもお話をいただきましたように、宿泊施設における多言語対応、あるいは

はDXへの支援、駅などのバリアフリー化、観光案内機能の強化といった受け入れ環境整備の他、MICE施設の整備、地域資源を生かしたコンテンツの造成などに宿泊税が活用されているものもあるというふうにお聞きをしております。ビジネスホテルや旅館など宿泊事業者の経営形態や宿泊者の属性の違いなどもありますため、引き続き課題整理を行いながら検討してまいりたいと考えてございます。

その他

電気バス導入の補助について、神戸教育情報基盤サービスの再構築について、身近な公園における取り組みについて、空家対策について質問しました。

■高橋 としえ



WHO神戸センターの見直しについて

高橋 兵庫県や神戸市等で構成される神戸グループとWHO本部との覚書に基づき、平成28年度から令和7年度にかけて、WHO神戸センターへ運営費等の支援が予定されています。支援は年間100万ドル(1.4億円)でありかなりの財政負担となっています。私はこれまでも2020年2月の本会議や2020年7月の総務財政委員会において当センターの存在意義について問うてきましたが当局による答弁は、「緊密な連携のもと、センターからの情報を市民に提供する」との事でした。一方で、先日の県議会において、「今後の運

営支援の在り方に関して、神戸市とも連携しながら、国の動向も踏まえ、県の財政負担の軽減につながるよう検討していく」との答弁がありました。センターは感染症対策を所管しておらず研究成果による市民への還元には課題があります。支援の是非も含めて見直しを行うべきではないでしょうか。
今西副市長▶ WHO神戸センターへの支援につきましては、兵庫県においては県政改革方針の中で、見直し項目に掲げられている他、ご指摘のように県議会において知事より財政負担の軽減に繋がるよう検討対応を行う旨の発言がなされました。第3期満了に向けて、兵庫県を中心に神戸グループとして今後の支援の在り方について経済界も交えて検討してまいります。

港湾局

山本 のりかず

北区

神戸港ロジスティクスターミナルについて

山本 神戸港将来構想では、六甲アイランド南において、高付加価値の新たなロジスティクスターミナルの形成を目指すことが示されていますが、六甲アイランド南における神戸港ロジスティクスターミナルの実現に向けた検討は必要であると考えますが、考えをお聞かせください。



港湾局▶新たなロジスティクスターミナル形成は必要と考えているところですが、埋め立て用材が必要となると、早期の事業化は難しいということで考えています。

山本 将来的な神戸港ロジスティクスターミナルの実現に向けては、移動式のガントリークレーンの導入も含めて、ターミナルの一体利用により、効率的な着岸や荷役ができるハード整備に努めていただきたいことを要望致します。

建設局

高橋 としえ

西区

西神中央駅周辺の交通安全対策

高橋 西神中央駅ではリニューアルが着々とすすんでおり、来街者が増えることは喜ばしいがそれに伴って、交通安全対策も必要になる。西神中央前のなでしこ芸術文化センター前から西警察署がある交差点まで約350メートルの間、横断歩道がなく、乱横断が散見されます。間に信号機を設置するなど安全対策を講じる必要があると考えるがどうか？



建設局▶西神中央線の停車車両の間をぬうような歩行者の乱横断が多いと認識しています。バスロータリーの出口部に**横断歩道と歩行者用の信号機を新設致します。**

要望

小部明石線 榎谷町柵木の歩道の整備の積極的な取り組みをお願いします。

令和6年度予算特別委員会

局別審査

所属議員が各担当部局に分かれて 令和6年度予算について質疑しました。

市政へのご意見・ご相談は
各区所属議員に
お問い合わせください。



お問い合わせはこちら



経済観光局

黒田 武志

西区

第29回神戸ルミナリエについて

黒田 4年ぶりの本格開催で、10日間で約230万人、メリケンパークでは約133万人の来場者があった。例えば神戸の冬の代表的な味覚である西区のイチゴなどのスイーツ等々を販売するなど、観光客がルミナリエに来られた際に、より深く神戸を感じられるような運営をしてはどうか。ルミナリエに来場することで知った食事や食材に再び出会うために、神戸を再訪することで神戸のブランディング向上と経済効果が期待できると考えます。



経済観光局▶ルミナリエは全国から神戸にお越し頂く神戸を代表する行事です。神戸の魅力を現場で体感して頂き、今後、市内事業者とも連携しながら、神戸の食事や食材をPRし、再び訪れて頂くことで経済効果を拡大していくよう取り組んで参りたい。

市長室・行財政局

ながさわ 淳一

長田区

総合コールセンターを コンタクトセンターへ

ながさわ AI(自動音声)の活用とシステマチックな問い合わせ対応を通じ、人口減少社会における生産性向上と市民の利便性向上を図るべきと考えます。

市長室▶ウェブとAIを活用し、市民の利便性と職員の生産性向上を目指しています。イベント申し込みをウェブ化し、電話申し込みを24%に抑え、問い合わせが多い項目を自動抽出するシステムを導入。



ながさわ 神戸市独自の生成AIを要望しており、明らかにAIを使う方が効果があり経費も大きく削減可能です。代表質疑では、庁内マニュアル等の独自データを基に回答を行う**生成AIの検証を実施すると答弁**があったところである。企画調整局のAIの取り組み状況を見て研究・検討して頂きたい。

こども家庭局

さとう まちこ

垂水区

保育所等における医療的ケア児の受入れ

さとう 厚労省のデータでは、医療的ケア児はこの15年で倍増の2万人超となっており、いつでも複数人を受け入れられるよう体制を整備する必要があります。また、保護者は仕事との両立は厳しく、誰でも通園制度でも受け入れられるようにしていただきたい。



こども家庭局▶施設の体制や児童の状態等を勘案しながら、ノウハウが蓄積された施設においては、複数名の受入体制をさらに検討・調整するなど、できる限り保護者のニーズに応えていきたいと考えます。

要望

新湊市が実施している、病児保育室の看護師等が保育所から病児保育室へタクシー等で送迎し、保護者が迎えに来るまでの間、病児保育室で保育するような事業を。夜泣きで悩むご家庭向けにバーチャル空間でアバター参加できるシステムを。

行財政局

原 直樹

垂水区

税務業務改革について

原 税制は複雑な多岐にわたり、制度改革が頻繁に起こるため、行政自身が専門的な知識、技術を有していることが必要不可欠であります。行財政改革に資する形で、知識、技術の継承を含めてどのように専門人材を育成していこうとしているのか、考え方を伺えますでしょうか。



行財政局▶税務専任職の指定を行い税務分野における幅広い知識の継承等に努めております。また専門性の高い業務については、専門研修を外部の様々な機関に委託して研修体制を構築しております。様々な取り組みを通じて、市として適切な税務行政が遂行できるよう専門人材の育成については、今後も引き続き取り組んでまいりたいと考えています。

危機管理室

のまち 圭一

中央区

サイバー攻撃対策について

のまち サイバー攻撃は日々進化し手法も巧妙化しています。対策を一度実施しただけでは不十分であり、防御策を常に更新し続ける必要があります。来年度の具体的な取り組みやその重要性についてお聞かせください。



危機管理室▶令和6年度では重要インフラのシステム点検と改修、ランサムウェア対策訓練、研修を実施します。関係機関との連携も強化し、サイバーレジリエンスの確保に全力を尽くします。これらの取り組みが、重要インフラの安全性と国民の安全を守る上で不可欠です。また、新たな脅威に対応するため、常に最新情報入手し、迅速に対処する体制を整えます。継続的な訓練と情報共有がサイバー安全の基盤となります。

のまち インシデント発生時の**初動対応も重要**です、訓練をお願いします。

教育委員会

岩谷 しげなり

兵庫区

境界知能にある人々への理解&対策

岩谷 近年、知的障害と平均の間にある「境界知能」に位置する人々の存在が目目され、日本人の約14%が該当するとのことです。勉強が苦手・コミュニケーションが苦手・忘れ物をしがちといったものが、認知機能の低さに起因するにもかかわらず、本人の努力不足ということで片付けられ、不登校に陥ったり、社会に出た後の生き辛さにも結びついてしまっています。認知機能を強化させるプログラムを取り入れている自治体も既にあり、教員にとっても支援の方法が明確になるという効果が出ているとのことです。神戸市の学校でも、取り入れるべきではないでしょうか。



教育委員会▶プログラムの有効性は認識しています。**情報収集の上、十分に研究していきたい**と思います。

岩谷 **認知機能は学習の土台であるため、知的障害の軽度から境界域にいる児童生徒以外にも有効**です。積極的な研究をお願いしたいです。

建築住宅局

川口 まさる

灘区

老朽空家の解体補助事業について

川口 空家対策の補助について、よく似た二つのメニューが併存しているが「老朽空家等解体補助事業」を利用せず放置し、勧告相当の特定空家等になるまで状況を悪化させて「技術的援助の解体除却等補助」を受けた場合の方が、補助金額で優遇されているのは、制度の欠陥ではないでしょうか。



建築住宅局▶モラルハザードの懸念については、所有者による空き家の適正管理の必要性に加え、周辺住民に危害を与える危険性やその場合の損害賠償責任など、空き家を放置するリスクについて説明し、指導によって自主改善を強く促すことで対応しています。今後も、法や条例に基づく厳しい指導と支援を行うことで、危険な状態の早期改善を促したいと考えています。

交通局

三木 しんじろう

中央区

交通局のこれからの取り組みについて

三木 物価高騰や利用率の低迷により料金改定の話があるなか、安全対策・交通局内部のガバナンス強化・DXの推進など業務の効率化による経費削減といった内部の改革を進め、更には利用者のニーズを踏まえ、収入をいかに上げていくとも考えていく必要があると考えます。こうした交通局の継続的な取り組みに対する覚悟と考え方は？



交通局▶公共交通事業者として市民の足を確保し、持続可能な経営基盤を築き、安全運行を前提にサービス充実と経費削減・増収に努めます。また、経営情報発信や地域コミュニケーションを強化、市バス営業所では外部評価を導入しガバナンスの強化、積極的な経費削減や増収策を推進します。交通局全職員が一丸となって、あらゆる取り組みを強力に推進します。

健康局

住本 かずのり

須磨区

带状疱疹ワクチン助成について

住本 令和4年9月の会派代表質疑において要望していた带状疱疹ワクチン接種助成については、兵庫県が令和6年度より開始し、県下の市町が助成する場合に助成額1/2、上限2,000円を支給することが発表されました。本市としても兵庫県と連携し、带状疱疹ワクチン接種助成を早急に開始すべきと考えますが、いかがですか？



健康局▶兵庫県の実施期間は令和6年度限りで、令和7年度以降は市町村の実施状況を踏まえつつ対応検討となっている。本市としても令和6年度、できる限り早期に実施できるように検討しています。

実現

新年度より4000円/回、一回助成実施されることになりました。(50歳以上の市民)

文化スポーツ局

大井 としひろ

須磨区

須磨図書館の再整備について

中央図書館長▶今年度につきましては、クラウドファンディングにより集まった資金に基づいて、児童書を充実させるとともに、絵本作家の絵などを飾るピクチャーレールの設置など、アコーディオンカーテンの取替工事も行っており、児童コーナーの充実も図っているところでございます。今後も引き続き、快適に使っていただけますよう、施設や整備について必要な改修を行ってまいりたいと考えているところでございます。



大井 ぜひ、須磨区図書館の再整備については、広く区民の意見も聞いていただき、区民、誰もが行きやすい交通の便の良い地下鉄沿線、できれば妙法寺通りに図書館ができれば願っています。また合わせて、中島町にあります、文化センターや大ホール・体育館についても早急に検討するよう要望致します。

交通局

外海 開三

東灘区

鴨子ヶ原のバス停について

外海 東灘区を走る市バス19系統、39系統は、神戸大学附属中等教育学校の登校時間にあわせ「神大附属前」を先に通る反時計回りの学校先行ルートで運行している。「神大附属前」から先のバス停においては、通常とは反対方向へ進むバスに乗ることから、通常のバス停ではなく道路の反対側のバス停から乗車する状態である。この朝だけのバス停は、道路に白線で「のりば」と手書きで引かれ標識もなく、隣は溝となっており利用者も多く危険である。「安全対策とサービス充実」を掲げる交通局としては、建設局とも連携し問題解決に向け対応を検討すべきであります。



交通局▶物理的に歩道上でバスを待つ環境にない事は認識している。安全に利用していただくため今後しっかりと考えていきます。

福祉局

なんの ゆうこ

東灘区

障害者の8050問題について

なんの 自宅で生活する障害者の中には高齢の家族が支えており、支援が行き届いていないケースを多く聞きます。適切にサービスが利用できるよう、市としてどう働きかけていくのかお聞きします。



福祉局▶障害者の高齢化や重度化、親なき後を見据え、各区に障害者地域生活支援拠点として障害者相談支援センターを設置し、障害者や障害児、家族からの相談に応じ利用援助を行っています。また独自の取り組みとして、障害者見守り支援員を配置、必要に応じて個別訪問を行う「障害者見守り支援事業」を実施しています。8050問題も踏まえ高齢分野の関係機関と連携して、**全ての障害者に対し**取りこぼしのない対応を徹底していきます。